

2016年3月期 上半期連結業績概要

執行役員
山西 哲司

- ◆売上は過去最高の5,876億円。
営業利益は前年同期から63%増の456億円。
- ◆受動部品の売上・営業利益が半期ベースで過去最高。
(営業利益は前年同期から88%増)
自動車市場向け、スマホ向け販売が好調。
- ◆磁気応用製品の売上・営業利益は、HDDヘッド及び
マグネットの販売低調により、前年同期で減収減益。
- ◆フィルム応用製品は、二次電池のスマホ向け販売が
好調に推移し、前年同期で大幅な増収増益。

2016年3月期 上半期連結業績概要

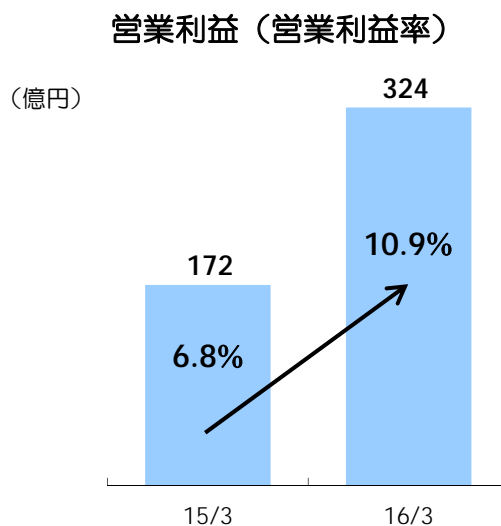
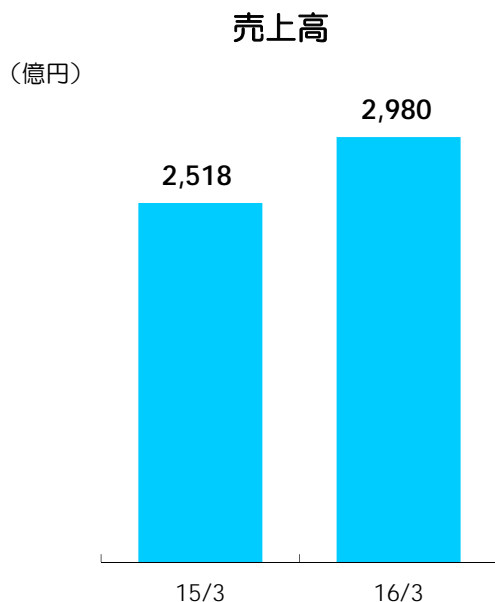


連結売上高は5,876億円、営業利益は456億円

(億円)	2015年3月期 第2四半期累計実績 (2014.4.1~2014.9.30)	2016年3月期 第2四半期累計実績 (2015.4.1~2015.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	5,023	5,876	853	17.0
営業利益	279	456	177	63.4
営業利益率	5.6%	7.8%	+2.2pt	-
税引前利益	274	441	167	60.9
当期純利益	181	315	134	74.0
1株当たり利益 (円)	144.17	249.69	-	-
為替	対ドルレート (円)	103.02	121.80	18.2%の円安
	対ユーロレート (円)	138.96	135.11	2.8%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約788億円の増収 営業利益：約142億円の増益			

上半期各事業の状況（受動部品事業）

売上高 2,980億円（前年同期比18.3%増）
営業利益 324億円（前年同期比88.4%増）



●セラミックコンデンサ

- ・堅調な自動車市場を中心に前年同期より売上増
- ・生産性改善により利益率向上

●インダクティブデバイス

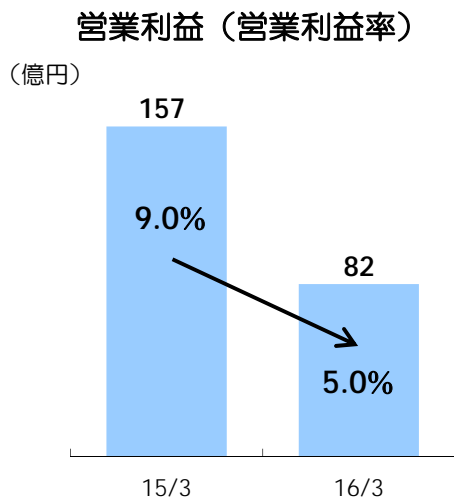
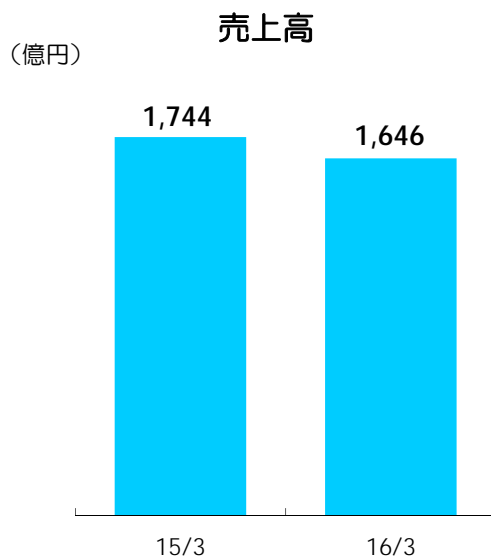
- ・好調なICT市場（特に通信機器向け）及び堅調な自動車市場向けで売上が増加
- ・品種構成の良化により利益拡大

●高周波部品

- ・中国及び北米スマホ向け需要を中心にディスクリート製品の販売が好調
- ・生産性改善効果や品種構成の良化により利益率も大幅に改善

●圧電材料部品

- ・カメラモジュール用OISの販売増加により前年同期比増収増益



売上高 1,646億円（前年同期比5.6%減）
営業利益 82億円（前年同期比47.8%減）

●記録デバイス（HDDヘッド）

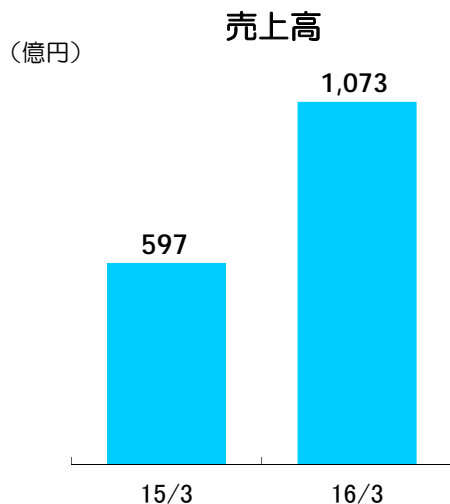
- ・HDD市場はP C需要の世界的不振により低迷。
- ・HDDヘッドの出荷数量も前年同期で減少。

●マグネット

- ・HDD向け販売が低調。稼働の減少と一時費用発生により前年同期で減益。

●電源

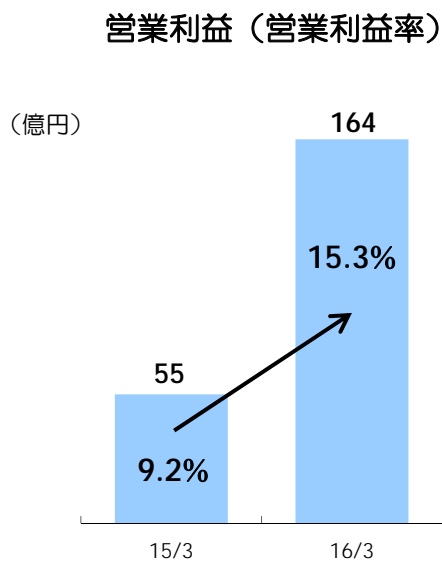
- ・F A機器、計測機器等の産業機器市場向け販売は堅調に推移。



売上高 1,073億円（前年同期比79.7%増）
営業利益 164億円（前年同期比198.2%増）

●エナジーデバイス（二次電池）

- 中国、韓国及び北米向けの販売が拡大。
- 前年同期で大幅な増収増益。



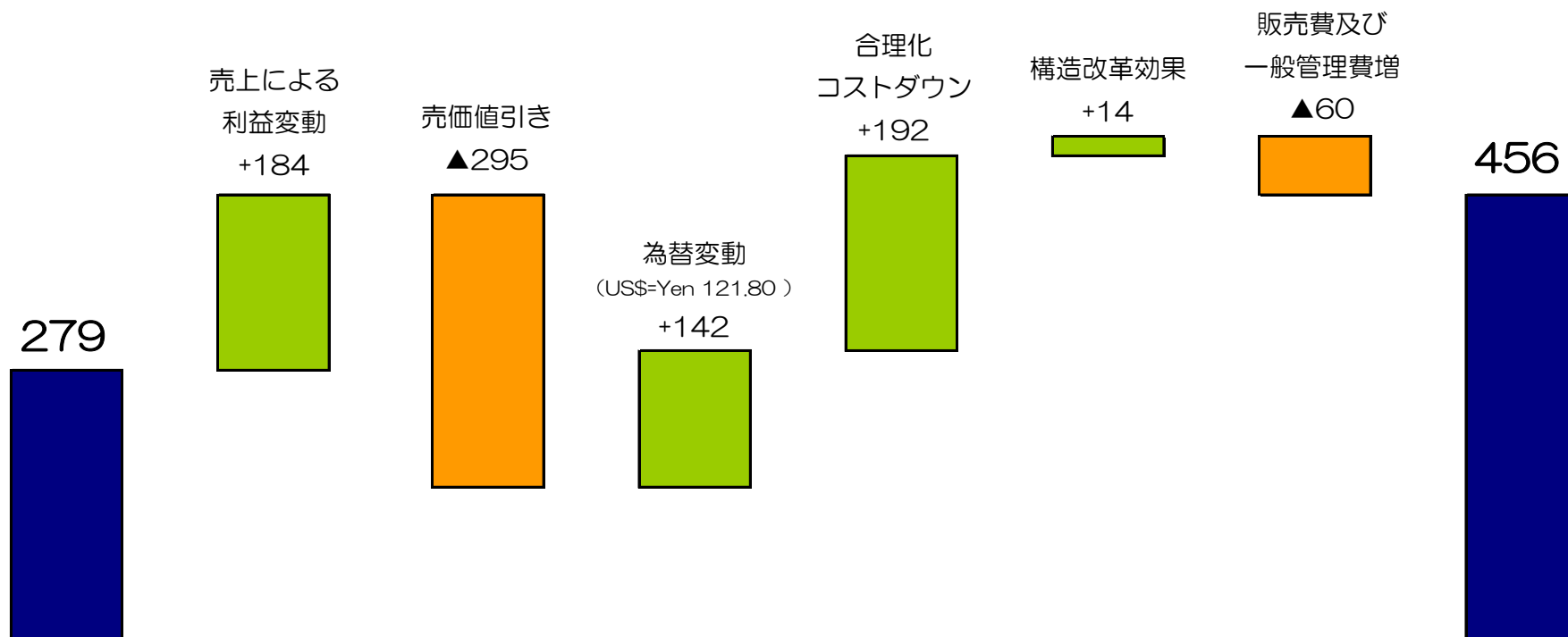
営業利益増減分析

2015年3月期
上半期
279億円

営業利益 +177億円

2016年3月期
上半期
456億円

(単位：億円)



2016年3月期 第2四半期連結業績概要



(億円)	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,648	3,081	433	16.4
営業利益	183	274	91	49.7
営業利益率	6.9%	8.9%	+2.0pt	-
税引前利益	170	251	81	47.6
当期純利益	124	184	60	48.4
1株当たり利益	98.43	145.72	-	-
為替	対ドルレート	103.86	122.31	17.8%の円安
	対ユーロレート	137.77	136.06	1.2%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約395億円の増収 営業利益：約81億円の増益			

セグメント別四半期実績



(億円)		2015年3月期 第2四半期 (A)	2016年3月期 第1四半期 (B)	2016年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	373	391	395	22	5.9	4	1.0
	インダクティブデバイス	371	379	386	15	4.0	7	1.8
	その他受動部品	555	708	721	166	29.9	13	1.8
	受動部品合計	1,299	1,478	1,502	203	15.6	24	1.6
	記録デバイス	637	546	607	△ 30	△ 4.7	61	11.2
	その他磁気応用製品	255	248	246	△ 9	△ 3.5	△ 2	△ 0.8
	磁気応用製品合計	892	794	853	△ 39	△ 4.4	59	7.4
	フィルム応用製品合計	372	432	641	269	72.3	209	48.4
	その他	85	92	86	1	1.2	△ 6	△ 6.5
	合計	2,648	2,796	3,081	433	16.4	285	10.2
営業利益	受動部品	94	150	174	80	85.1	24	16.0
	磁気応用製品	85	38	45	△ 40	△ 47.1	7	18.4
	フィルム応用製品	52	47	116	64	123.1	69	146.8
	その他	2	4	2	0	0.0	△ 2	△ 50.0
	小計	233	239	337	104	44.6	98	41.0
	全社および消去	△ 50	△ 58	△ 63	△ 13	-	△ 5	-
	合計	183	181	274	91	49.7	93	51.4
	営業利益率	6.9%	6.5%	8.9%	+2.0pt	-	+2.4pt	-
為替	対ドルレート (円)	103.86	121.29	122.31				
	対ユーロレート (円)	137.77	134.15	136.06				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2016/2q_1.htm